

五輪停戦 2008

北京大会までの道

2002.3.22

札幌たのしい授業研究サークル用レポート

2008.8.23 増補改訂

仮説実験授業研究会

北海道・丸山秀一

【問題】

オリンピック憲章には、その目的がはっきりと謳われています。
では、オリンピックの一番の目的は何でしょうか。

予想

- ア 世界平和
- イ 速く、高く、強く
- ウ 人類への貢献
- エ スポーツマンシップの育成
- オ そのほか

オリンピック憲章と五輪停戦

オリンピック憲章にははっきりと「目的は、人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の確立を奨励することにある」と示されています。近代オリンピック運動は世界平和運動でもあるのです。

そもそも、紀元前 776 年に始まった古代オリンピックも、当時の都市国家間の争いをやめることが目的でした。都市国家は停戦協定を結んで、オリンピックを開催したのです。そして、「オリンピック開催期間とその前後は、一切の武力闘争を中止する」という取り決めが 1200 年にわたってよく守られたのです。

【問題】

現在の近代オリンピックでもその精神を生かして開催国が五輪開催の前年に国連で、「オリンピック開催期間は戦闘行為の停止を」と訴え、そこで「オリンピック停戦決議」が採択されるようになっていきます。

では、このオリンピック停戦決議はいつからのことなのでしょう。

予想

- ア 第 2 次世界大戦後のロンドン大会（1948）から
- イ 日本国連加盟後の東京大会（1964）から
- ウ 前大会テロ事件の後のモントリオール大会（1976）から
- エ ソ連のアフガン侵攻後のロサンゼルス大会（1984）から
- オ もっと最近のこと

ユーゴ紛争

五輪停戦は、IOC がバルセロナ大会（1992）に先立ち、古代オリンピックの伝統に倣って「競技期間前後の戦闘行為停止」を求める呼びかけをしたことに始まります。

1992年、ユーゴ紛争で成立したユーゴスラビア社会主義連邦共和国を国連は認めなかったため、IOC は国連に対し新ユーゴの選手たちのバルセロナ大会への参加を認めるように求めるとともに、「五輪停戦」を宣言したのです。



そうして新ユーゴの選手たちは「Independent Olympic Participants=自主参加選手」として五輪旗を掲げて、バルセロナ大会に参加しました。

バルセロナ大会では、アパルトヘイト政策のため五輪参加が認められなかった南アフリカ共和国が1960年以来初めて参加が認められました。男子1万メートルの競技で、南アフリカの白人選手は、エチオピアの黒人選手とデッドヒートを演じ、黒人選手が優勝したあと、二人は手をつないでトラックを一周しました。



またこの大会には、ベルリンの壁崩壊で、統一ドイツが初めて参加し、ソ連解体により CIS 国は「統一チーム」として、五輪旗を掲げて参加しました。



この五輪停戦のアイディアは、次のオリンピックで確立されました。1994年リレハンメル冬季五輪の前年に、開催国のノルウェーが初めて五輪停戦決議案を国連総会に提案して、採択されたのです。

リレハンメル大会では、サマランチ会長が「10年前の開催地であるサラエボが内戦の戦火に曝される現状」に対し「我々はかつてない強いメッセージを持っている。どうか戦いをやめて欲しい。殺すのをやめよ。銃を捨てよ」と演説し、黙祷を捧げました。そして、サラエボでは再び五輪停戦が守られたのでした。

【問題】

この停戦決議の内容はどのようなものだったのでしょうか。

予想

・ 停戦期間

- ア 五輪の年
- イ 五輪開催期間中
- ウ 開催期間とその前後
- エ そのほか

・ 内容

- ア すべての戦闘行為の停止
- イ 安保理が判断する戦闘行為
- ウ そのほか

五輪停戦

このときの国連決議には、「国連加盟国に、それぞれのオリンピック開会式の7日前より、閉会式の7日後までの間、五輪停戦を遵守するよう訴える」となっており期間が明確に定められていました。IOCでは「古代オリンピックでは、選手と観客の通行の安全を保証するために大会期間とその前後7日間の停戦を定めた」としているのです、古代オリンピックを模倣したものです。

ただ「停戦」の具体的な内容については、その必要がなかったのか、何も述べられてはならず、「安保理事会には、国際的な世論を引き出すことで加盟国に五輪停戦を推進させることを求める」と安全保障理事会の役割が明記されていました。

【問題】

次のアトランタ大会の時も五輪停戦決議は国連で採択されました。しかし、その内容には変化がありました。それはなんだったのでしょうか。

予想

- () 期間が変わった
- () 停戦の内容が具体的になった
- () 安保理の役割が変わった

アトランタ大会停戦決議



それはまず「五輪停戦」の内容をはっきりとさせたことです。この決議では、リレハンメル大会での決議を「五輪期間中のすべての戦闘行為の停止を求めることで、古代ギリシャの五輪停戦の習慣を復活させ、それによって世界中の若者を平和のために動員する」としてまとめていたのです。

しかし、「停戦期間」は、「7月19日から8月4日までのアトランタ大会の間」とリレハンメル大会の時よりも減らされ、さらに安保理の役割が「安保理に、国家間の平和と平等、人類の調和の取れた発展の促進のためのIOCとの協力を続ける

ことを求める」と変更になっていました。

アトランタ大会は、近代オリンピック100周年にあたり、初めてパレスチナが参加するなど、平和への意志を感じさせましたが、大会期間中に、オリンピック公園で元米軍兵による爆弾テロ事件があり、2名が死亡し、100名以上が負傷する惨事となりました。

【問題】

次は長野大会（1998）でした。このときの決議は、アトランタ大会とほぼ同様のものでしたが、「安保理の役割」がリレハンメルのものに戻っていました。

長野大会では、五輪停戦の効力が超大国に対して実際に問われることとなりました。イラクが国連の大量破壊兵器査察を拒否し、米国が武力行使を辞さない構えを見せていたからです。

さて国連で満場一致で採択された停戦決議は、このとき米国に守られたのでしょうか。

予想

- ア 米国は五輪期間中に武力行使を行った
- イ 五輪終了後に武力行使を行った
- ウ 武力行使を断念した



成功だった長野大会

長野大会の期間中、米国は武力行使に踏み切ることはありませんでした。オリンピックと停戦決議が米国の武力行使を遅らせたのです。長野大会には、北朝鮮が6年ぶりに参加しました。そして開会式会場へ聖火を運んだのは英国の対人地雷禁止運動家のクリス・ムーアさんでした。右手、右足を失ったムーアさんは「五輪開会式は平和という夢を描くところ」と発言しました。

停戦決議の効力が初めて問われた長野大会には、国連旗が五輪史上初めて翻り、国連アナウンサー事務総長は「長野五輪が戦争のない世界を求める人類の展望を21世紀に引き継ぐための重要な機会になるべきだ」と訴えました。そして、それは実現したのです。



閉会式で、司会の萩本欽一さんの「私たちのふるさととは？」との問いに、会場は「地球!!」と叫びました。(国連旗 by *Ivan Sache*, *FOTW*)

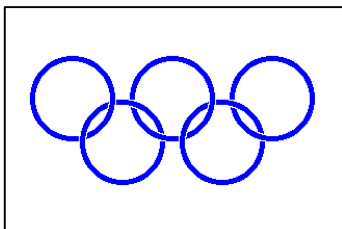
【問題】

2000年のシドニー大会を前にした五輪停戦決議は長野大会のものとはほぼ同じ内容で、国連総会史上最高の180カ国による満場一致で採択されました。

シドニー大会では、開会式に120本の五輪旗がまとめて入場しました。その五輪旗は図のようにふつうの五輪旗とは違って、青一色のものでした。この五輪旗には何か意味があったのでしょうか。

予想

- ア 特に意味はない
- イ 国連との協調を表現した
- ウ 五輪停戦をアピールした
- エ そのほか



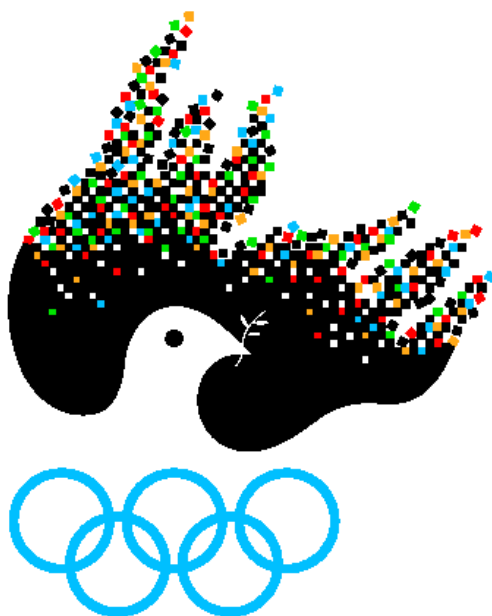
シドニー五輪開会式で使われた旗
by *Mark Sensen*, recoloured by
Ivan Sache (FOTW)



国際五輪停戦センター

「青一色の五輪旗」を公式に採用しているオリンピック団体が
あります。それは「国際オリンピック停戦センター」です。IOC
はギリシャの協力の下、国際オリンピック停戦センター(=International Olympic Truce Centre)をシドニー大会の直前に設
立しました。その目的は、「平和、友情、国際理解に奉仕するため、
オリンピックの理念を普及させること、特に五輪停戦の遵守を支持し、
五輪期間中のあらゆる戦争行為をやめるように求め、さらに
平和をもたらす運動に世界中の青年を参加させること」です。

国際五輪停戦センターのシンボルは、図のような、聖火(様々な色はすべての人たちが一緒に停戦に取り組むことを示していま



す)をバックに平和の白鳩を描いたもので、「青一色」の五輪マークが添えられています。

シドニー大会では、この「五輪停戦」の訴えを120本の旗を用いて開会式で示したのではないのでしょうか。そうして五輪停戦が実現し、シドニー大会の閉会式では、選手たちの上に巨大な

白布がかぶせられ、そこに「青地に白鳩」が投影されたのです。これは、五輪停戦が守られたことを祝い、これからも平和が続くことを願ったものに他なりません。

シドニー大会では、北朝鮮と韓国が「統一旗」を掲げて一緒に入場し、IOC 未加盟であった東ティモールの選手も五輪旗を掲げて参加しました。しかし、唯一アフガニスタンだけがタリバン政権の女性差別政策によって参加を認められていませんでした。



(朝鮮統一旗 by *Mark Sensen*,
FOTW)

シドニー大会の年、国連は「ミレニアム・サミット」を開催し、「ミレニアム宣言」を採択しました。そこには「現在および将来において、オリンピック停戦を遵守する」と記されていました。今年、洞爺湖で開催された「G8 サミット」は、8 カ国首脳だけのサミットですが、「ミレニアム・サミット」には、189 カ国の首脳が参加して開催されたものです。

【問題】

次のソルトレーク大会(2002)は,その前年に起きた9.11米国テロ事件による,米タリバン戦争で開催が危ぶまれていました。なぜなら五輪憲章に「戦争当事国はオリンピックを開催できない」と明記されているからです。そして,過去にオリンピックは,ベルリン大会(1916,第1次世界大戦で中止),東京大会(1940,日中戦争で中止),ロンドン大会(1944,第2次世界大戦で中止)と3度も戦争によって中止に追い込まれているのです。

しかし,ソルトレーク大会は決行されました。このことについてIOCはどんな反応をしたと思いますか。

予想

- ア 「五輪憲章に抵触しない」と開催認可
- イ 「五輪憲章に抵触」と中止勧告
- ウ そのほか



Damage to the Pentagon --Wikipedia

ソルトレーク五輪大会協定書

ソルトレーク五輪大会の開催を定めた IOC との協定書には、はっきり「開催国が開会式の前、開催期間中のいつであれ、戦争状態、国内争乱、または正式に交戦状態と判断できる状態になった場合は、IOC はオリンピック開催を中止できる」と記されています。

そして開催国の米国が自ら「戦時下にある」と宣言していますから、IOC 委員のひとりであるゲハルト・ハイベルグは、「戦時下の国はオリンピックを開催できない」と主張しました。しかし、他の委員は彼を非難し、発言を撤回させました。こうして、IOC はソルトレーク大会の開催を認めたのです。

【問題】

では、五輪開催国の米国はそれまでのように国連で五輪停戦決議案を提案したでしょうか。

予想

- ア それまでと同様に提案した
- イ 提案しなかった
- ウ 内容を変更して提案した



停戦？決議案

米国が提案した五輪停戦決議案は、その内容がこれまでのものとは全く違うものでした。アトランタ大会以降の決議案に必ず含まれていた「五輪期間中のすべての戦争行為の中止を求める」という表現がなくなり、「国連加盟国には、五輪選手らの安全な移動と参加を保証することによって、五輪停戦を遵守するよう求める」という文句に置き換えられたのです。

この書き換えられた部分は、最初の五輪停戦決議の解釈の部分で五輪停戦の根源的な部分でした。しかし、元々五輪停戦は「古代ギリシャの慣習を復活させる」のが目的で、古代オリンピックでは、「選手らの安全な移動と参加を保証すること」が建て前の目的の停戦だったのですから、この「書き換え」は「間違い」とまでは言えないわけですが、何を意図しての「書き換え」だったのでしょうか。もしかしたら、米国には、五輪停戦を実現する意図はなく、さりとして決議案を提出しないのであれば、国際世論の反発にさらされるため、こういう書き換えをしたのかもしれない。

[質問]

この「五輪停戦決議」の米国提案は、国連ではどのような反応があったと思いますか。

予想

- ア それまでと同じく全員賛成で採択
- イ 一部に強い反対があったが採択
- ウ 強い反対もなく大多数の賛成により採択

停戦決議採択

シドニー大会を前にした五輪停戦決議は、国連史上初の参加180国の全員賛成で採択されました。そして、今回のソルトレーク大会を前にした五輪停戦決議案には、キューバが強い反対を表明し、当時の国連加盟189カ国中170カ国の支持により、この提案は採択されました。

今回の異例の内容の停戦決議をIOCは歓迎しました。しかし、国連で五輪停戦決議が採択されたのにもかかわらず、聖火の採火式に合わせてギリシャを中心とした17カ国・地域の外相からは「五輪期間中の停戦を求める声明」が出され、多くの著名人がそれに署名しました。それは、「今回の五輪停戦決議では、不十分だ」と思ったからでしょう。

【問題】

停戦決議後、タリバン政権は崩壊（2001.12）しました。では、翌年2月のソルトレーク大会期間中、米軍のアフガニスタンにおける攻撃は中止されたと思いますか。

またアフガニスタン以外の地域での戦闘も中止されたのでしょうか。

予想

- ア 期間中は攻撃がなかった
- イ 攻撃は継続されていた

戦時下のオリンピック

米国・日本などが参加をボイコットしたモスクワ大会（1980）もソ連のアフガン侵攻の中で開かれたものです。しかし、そのときにはまだ五輪停戦決議はありませんでした。

今回停戦決議採択後も米国は「決議に戦闘停止を求める表現はない」として、アフガニスタンにおける戦闘を継続しました。「戦争当事国」で初めて開催されたオリンピックは、上空を戦闘機が飛び回る厳戒態勢の中で行われました。



さらに、オリンピック期間中も、イラクへの爆撃とイスラエルとパレスチナの間での戦闘は止むことがありませんでした。

ソルトレーク大会前、「一切政治に関わらない」はずのIOCが、2001年9月の米国テロ事件以降、その本部で掲げている五輪旗を半旗としていました。（写真はAPより）

また、聖火リレーは、「テロの被害にあった」という理由からか、米

国防総省という米軍の最高司令部を經由しました。（写真下）

また「戦時下」の開催となった開会式では、「テロ事件の現場で発



AP

見された」という米国旗を「神よ，米国を救いたまえ」の合唱とともに登場させ，国家元首の演説を求める（五輪主催者はIOCで開催国ではない）など，五輪憲章に抵触するような内容となり，IOCも難色を示すほどでした。

結局，大統領スピーチは，開会式の前に行われましたが，開会式での米大統領の開会宣言では五輪憲章で定められている言葉のほかに「誇り高く，優雅なこの国を代表して」という文句を加えたために，IOCの批判を受けました。

米国旗に覆い尽くされ，愛国的な主張のあふれたソルトレーク大会を見て，ヒットラーの演説とナチスの旗に埋め尽くされたベルリン大会（1936）を思い出した人もいることでしょう。

【問題】

ソルトレークの次は，アテネ大会でした。では，アテネ大会での停戦決議は，昔の表現のものに戻ったでしょうか。

予想

- ア 昔のものに戻った
- イ 変わらなかった
- ウ 別のものになった



アテネ大会停戦決議

その決議の内容、つまり最初の五輪停戦決議についての解釈は、「平和的環境をつくり、選手らの安全な移動と参加を進め、それによって、世界中の若者たちを平和のために動員するための古代ギリシャの五輪停戦を復活させる」となっていました。やはり「安全な移動と参加」だったわけです。そして、この決議は国連総会史上最高の190カ国の満場一致で採択されました。

アテネ大会は、108年ぶりにオリンピックがギリシャに戻った記念すべき大会でした。そこでギリシャで採火された聖火は、五輪停戦を世界に知らせるべく、五大陸をまわってからアテネに戻りました。

開会式では、国連事務総長の停戦を訴えるメッセージが流され、アフガニスタンとイラクも参加しました。また選手村には「五輪停戦の壁」が設置され、停戦を支持する参加者は、その壁への署名によって、それを表現しました。

しかし、この大会では「朝鮮統一旗」は見ることはできず、9.11の余韻を受けて、厳戒態勢の中での大会でした。

【問題】

アテネの次は、トリノ大会でした。では、トリノ大会での停戦決議の内容は、どうだったでしょうか。

予想

- ア 昔のものに戻った
- イ 変わらなかった
- ウ 別のものになった



トリノ大会停戦決議

その停戦決議の「五輪停戦」の解釈に関する内容は、アテネ大会のものと全く同じものでした。ただ停戦期間には、それまで五輪開催期間中だけだったのが、オリンピックのあとのパラリンピックの期間も含まれていました。そして、決議本文にも「選手の安全な移動と参加を推

進することで五輪停戦を遵守すべし」と書かれていました。

開会式では、オノ・ヨーコらが平和の歌を歌い、IOC 会長が平和を求める強いメッセージを読み上げました。選手村では、選手による五輪停戦の支持署名がなされました。しかし、トリノ大会も厳戒態勢の中で行われました。

【問題】

トリノの次が、北京大会です。では、北京大会での停戦決議の内容は、どうだったでしょうか。

予想

・「五輪停戦の解釈」

ア 昔のものに戻った

イ 変わらなかった

ウ 別のものになった

・停戦期間

ア パラリンピックも含まれていた

イ パラリンピックは含まれていなかった

ウ そのほか



北京大会停戦決議

「五輪停戦」の解釈は、アテネ、トリノ大会とほぼ同じですが、それまで「安全な移動と参加」の対象が「選手とそのほか=athletes and others」だったのが、「選手と関係者=athletes and relevant persons」に変えられていました。「関係者以外」は除かれたわけです。

停戦決議本文では、やはりパラリンピック期間も含まれましたが、そこには「安全な移動と参加」の表現はなく、代わりに「ひとつの世界、ひとつの夢」のスローガンに基づいた観点で」という表現が入っていました。(開催国のスローガンが決議に入ったのは、これが初めてです。また、北京五輪組織委員会はこのスローガンにより「中国国内及び国際社会における、人々のつながりや友好を基本とし、中国が世界の中心の華である事を世界にアピール出来る大会とすること」としました)そして、この停戦決議は、国連史上最高の192カ国の全員一致で採択され、国連事務総



同一个世界 同一个梦想
One World One Dream

長は「すべての戦争当事者は、この停戦決議を遵守するように」と求めました。

また、国連総会議長は、「北京大会期間中の、すべての戦争行為の全世界的な中止」を訴えました。北京大会でも選手村には「五輪停戦の壁」が設けられ、参加者は、停戦支持をその壁への署名で表現しました。

しかし、開会式当日、世界はグルジアで戦争が始まったことを知るのです。

【問題】

オリンピック開会式の日、グルジアでは戦争が始まりました。当事国のグルジアもロシアも五輪停戦に賛成していたはずですが。では、日本や外国のメディアは、この戦争をどう伝えたのでしょうか。「五輪停戦違反」とタイトルに掲げたメディアは多かったと思いますか。

「Google News」の検索で調べてみます。

予想 日本では（ ） 世界では（ ）

ア ほとんどなかった

イ たくさんあった

ウ なんともいえない

停戦違反

日本のメディアでは、この戦争が「五輪停戦に違反している」と記事で明確に指摘したものはありませんでした。高村外相の「即時停戦要求の談話」でも五輪停戦には触れていませんでした。

ただ河北新報社の社説に「五輪と政治、それでも非戦の夢託したい」、毎日新聞のコラムに「五輪休戦の願いもむなしく、北京五輪の開幕に合わせるようにグルジアからの分離独立を求める南オセチア自治州で軍事衝突始まる」、四国新聞社のコラムに「昨秋の国連総会で採択した五輪期間中の休戦決議は、強制力がないこともあり、まるで存在しなかったかのように踏みにじられた」とありました。

これに対して海外のメディアでは、英文のものをぱっと見ただけでも、ドイツ、中国、カナダ、米国、イスラエル、インド、英国、キューバ、フィリピン、オーストラリア、トルコ、アイルランド、スイス、エジプト、ニュージーランドなどのメディアが「ロシアもグルジアも五輪停戦遵守を表明していたのに」「五輪停戦が破られた」「五輪停戦が初日から破られたのは初めてのこと」という記事を書かせていました。日本メディアが「五輪停戦に関心がないか、どうせ強制力はない」と諦観しているのと対照的です。

実際、日本オリンピック委員会のサイトにも五輪停戦に関する記事は全くといっていいほどないのですから、日本人の関心の低さがわかります。

【問題】

少し、この紛争の中身について見てゆきましょう。

南オセチアは、ソ連時代、グルジア・ソビエト社会主義共和国内の自治州でした。グルジアはその民族主義を民族の違うオセチアに押しつけたため、オセチアは独立を要求しますが、ソ連崩壊でグルジアはオセチアの自治権も無効とし、グルジア武装勢力はオセチアの村々を焼き払っていきました。

南オセチアは住民投票で独立を決定し、グルジアに対して武装闘争を開始しました。そして、1992年、グルジア、南オセチア、ロシアによる平和維持軍が導入され、停戦となっていたのです。その後も南オセチアは国づくりを進めて、事実上の独立国となっていました。国際的な承認は得られていません。

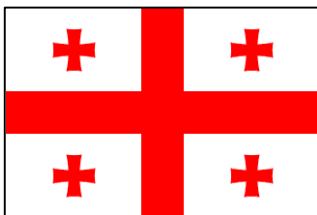
では、南オセチアはどんな旗を掲げているのでしょうか。次のどの旗に似ていると思いますか。

予想

- ア ロシア国旗
- イ 現グルジア国旗
- ウ 旧グルジア国旗
- エ そのほか



ロシア image by António Martins,



現グルジア Image by Željko Heimer 旧グルジア

南オセチアの旗

南オセチアの旗は三色旗で、ロシアのものとよく似ていますが、配色だけが異なっています。ロシア国旗にはない黄色は「国民の幸せ」を表しているそうです。南オセチア住民の7割はオセット人で、そのほとんどがロシア語を話し、東方正教会の信者です。



グルジアの同化政策に反対して、ロシアに好意を寄せていることも旗でわかります。

南オセチア

Image by Ivan Sache

【問題】

「南オセチア」があるということは「北オセチア」というのがありそうです。実は、ロシア連邦を構成する国のひとつに北オセチア共和国があり、それは南オセチアと国境を接しているのです。

「オセチア」という統一国家は、なかったのですが、かつてオセット人たちが住んでいた地域を、ソ連は南北に二つの国に分離して統治したのです。

北オセチアは、ソ連時代に自治州から自治共和国となり、ソ連崩壊後はロシア連邦構成共和国となりました。

では北オセチアの旗は、この南オセチアの旗と似ているでしょうか、

予想

- ア 同じ旗
- イ 似た旗
- ウ 似ていない

北オセチアの旗



image by António Martins

北オセチア共和国の旗は、南オセチアの旗と同じで、違うのは縦横比だけです。北オセチア住民の過半数がオセット人です。南オセチアの人々が北オセチアとの統合、そしてロシア連邦への加入を希望しているのが旗に表れているわけです。



両国の国旗がそっくりなためか、北オセチアでは国章を入れた国旗も見られるようです。

image by António Martins, V. Ivanov and S. Tabujev,

【問題】

ではこの両国の国章はどうでしょうか。国章も似ていると思いますか。

予想

- ア 全く同じ
- イ とてもよく似ている
- ウ 似ていない

南オセチア国章



Image by Nozomi Kariyasu & Ivan Sache,

国章の基本的なデザインは全く同じと言って良いでしょう。ただ南オセチアの国章は「南オセチア共和国」という文字に囲まれているのが違います。



グルジア国章

Images by Mamuka Gongadze

ロシア国章

image by Steve Stringefellow



【問題】

国外の報道各紙は「ロシア（とグルジアが）停戦決議を破った」と書き立てていますが、五輪停戦は南オセチア以外では守られたのでしょうか。次の地域ではどうだったのでしょうか。

予想

- () イラク
- () アフガニスタン
- () パレスチナ
- () チベット



対テロ戦争

北京大会の期間中も、米軍の作戦や自爆テロはやむことがありませんでした。それはアフガニスタンでも同じです。米軍は五輪期間中の21日に、イスラム教徒の集会場を爆撃し、民間人76(うち子ども50,女性16)名を殺害しました。しかし、世界はこのことを「五輪停戦違反だ」と告発しないのです。米国に言わせれば「五輪選手と関係者を守るため、五輪停戦決議に則った措置だ」と言うことかもしれません。「対テロ戦争」という発明は、戦争を停戦協定の外側に追いやってしまったのでしょうか。

チベットでも五輪期間中も中国政府による弾圧が続き、未確認ながら「死者140名」という情報もあります。9.11以降、立場は「我々の側か、テロリストの側か」の二通りしかなく、「体制に逆らうもの」はすべてテロリストとして、世界中で自由に弾圧できるようになってしまったのです。私たちは、ナチスがフランスのパルチザンをテロリストと呼んで戦っていたことを思い出すべきでしょう。

ただパレスチナでは、五輪期間中のイスラエルによる武力侵攻や空襲は行われなかったようです。でもそれは五輪停戦とは関係ありません。6月19日、ガザ地区でのハマスとイスラエルが初めて停戦協定を結んでいたからです。しかし、ガザではパレスチナの政権を取っているファタハと実効支配しているハマスの間で武力闘争が起こり、9名が死亡しました。

五輪停戦決議は16日間の停戦も実現できないでいるのです。そして、それは、イラク、アフガニスタン、パレスチナに対して絶対的な影響力を持つ米国の考え一つなのです。

【問題】

北京大会が決まったとき、開催には「環境、人権問題などを改善する」という条件がついていました。特に、チベットなどでの人権侵害に対する非難で、大会前には「抗議して北京大会をボイコットすべきだ」との主張が世界的に唱えられました。

では実際に北京大会をボイコットした国や地域はあったのでしょうか。

予想

- ア 数カ国
- イ 1~2カ国
- ウ なかった



チベット by Brett Hamilton

ボイコット

2005年、米下院で「中国政府がチベット問題など人権侵害をやめなければ、北京五輪の中止と開催地変更をIOCに求める」とする決議案が提出され、2007年8月には「ボイコットすべき」という決議案が提出されました。

米下院で「中国はスーダン政府に援助し、爆弾やヘリコプターを提供、アラブ人の民兵組織を招き入れ、殺害やレイプなど悪事を可能にしてきた。中国が今やっていることは1930年代にナチスがやった事と同じである。オリンピックのボイコットを考えることは正しい」と発言があり、下院議員108名で「虐殺を続ける勢力に対する支援停止を求める書簡」を胡錦濤国家主席宛に送付、書簡の中で「対応が不十分であれば五輪ボイコットも辞さない」と警告した。

2007年のフランス大統領選挙でもある候補者が、中国政府のダルフール紛争への対応を非難し、オリンピックのボイコットを呼びかけました。

2007年9月、米俳優で「チベットのための国際キャンペーン」会長のリチャード・ギアは、新作映画の記者会見で「北京五輪のボイコット」を訴えました。

また、台湾も中国メディアが「中国の一部」として台湾を扱った報道をしたため、「ボイコットも辞さない」としていました。

では実際にボイコットをした国や地域はあったのでしょうか。実際にはボイコットした国はなく、多くの世界各国首脳が開会式に集まった初めてのオリンピックとなりました。米大統領も参加していましたが、米大統領が国外でのオリンピックに参加するの

は、これが初めてでした。各国とも「中国との経済的結びつきを強めることがねらい」と言われています。

ただ個人的に開会式をボイコットした選手がいました。ドイツ選手団の一部は、「チベット弾圧に抗議して」開会式を欠席しました。

人権団体の抗議に対して米大統領は「スポーツ行事であるオリンピックが政治化されてはいけないし、適切な機会に中国指導部に人権と宗教の自由に対する憂慮を伝える」と答えました。

フランスでのボイコットを求める声に対して、仏大統領は、開会式に出席し、8月中旬に予定されていたダライ・ラマ 14 世との会談を中止、国境なき記者団が申請したパリの中国大使館前でのデモを禁止するなど中国への配慮を見せました。

【質問】

中国人権侵害に抗議して私たちは北京大会をボイコットすべきだったのでしょうか。みんなの意見を出し合いましょう。

人権侵害

すでにオリンピックはソ連のアフガン侵攻に抗議してのモスクワ大会、その報復としてのロサンゼルス大会と二度の大きなボイコットを経験しています。政治とは無縁のはずのオリンピックは、現実には政治の一部となっているかのようです。でもそれはオリンピックの目的から逸脱しています。

中国のチベットでの人権侵害は世界中の耳目を集めました、世界の問題はもうほかには、なかったのでしょうか。チベット問題については、中国の国内問題であり、それについて国際的な決議は何もありません。南オセチア紛争についても、グルジアの国内問題であり、やはり安保理（ロシアがいるので）でも何の決議も行われていません。

しかし、もっとひどくもっと長く続いている人権問題、明確な安保理決議により、解決方法が示されているのに一方の国の拒否により解決しない大きな問題があります。それはパレスチナです。安保理決議でイスラエルとパレスチナは定められた国境で分かれたふたつの国になることが定められています。

特にレバノン川西岸では、イスラエルが「違法」に入植活動を行って、既成事実としての領土化を進めています。そこでは、パレスチナ人は、コンクリートの壁に囲まれ移動の自由もなく、彼らの家にはゴミやコンクリートのかたまりが投げ込まれ、家や土地はイスラエルのブルドーザーで破壊されているのです。それは五輪期間中も止むことはないのです。

しかし、彼らのことを世界の誰も知ろうとはしません。ある喜劇役者の言葉を思い出します。「現代人は何でも信じるということはない。彼らはテレビでやっていることしか信じないのだ」

北京大会の開会式，最後に入場行進をした中国選手団の旗手には，ひとりの小さな子どもが寄り添っていました。彼は，五輪旗と中国国旗を掲げていましたが，中国国旗は上下が逆さまになっていました。国旗を逆さまに掲げることは，ふつう「国が難破状態にある」ということを示しています。

【質問】

「このミレニアムは，戦争のない時代にしよう」としたIOC，国連，国際五輪停戦センターなどの試みは，こうしてソルトレーク大会以降は，むなしい結果となりました。

平和への試みは「正義」という名の戦争に負けてしまうのでしょうか。これから五輪停戦決議はどのように扱われると思いますか。

予想

- ア 五輪停戦は有名無実になるだろう
- イ こんどこそ実現されるだろう
- ウ そのほか

停戦

国際五輪停戦センターが出しているパンフレットの最後にはこうあります。

もし私たちが 16 日間の間戦争を止めることができれば、もしかすると私たちは戦争を永久に止めることができるかも知れません。

そう、「できるかもしれない」のです！ でも、「まず 16 日間だけでも、戦争を止めること」なのです。私たちは、それを達成することができるのでしょうか。

2008 版の後書き

もう時間がないのであとでね

おわりに（初版のもの）

ボクは五輪にはほとんど関心がありませんでしたが否定的な思いは持っていませんでした。高校生のとき英会話の授業で、米国人講師が「君たちはオリンピックについてどう思う」と聞いたとき、クラスメートがみな口々に「自然を破壊するからオリンピックには反対だ」と答えるのを聞いて、とても驚いたことがあります。ボクは「オリンピックには賛成。それは世界平和のためになる」と答えるつもりだったからです。

それからボクは五輪には関心を持っていませんでしたが、国旗が好きになってからは、国旗の集まる五輪にも関心が出てきました。参加者や観客の掲げる旗にその意味を感じることができるからです。そして、シドニー大会での「朝鮮統一旗」や最後の「平和の白鳩旗」には、感動すら覚えました。「五輪が世界平和へのきっかけとなる」強い可能性を感じたのです。

しかし、その可能性は、今回のソルトレーク大会で、後退を余儀なくされました。これもひとつの「実験」なのです。ボクはこの実験結果を記録しておこうと思い、世界のニュースソースを集めてみました。

よく「日本人は平和ボケしていて、平和憲法を持ちながら、世界平和のためには行動しない」といわれます。しかし、ニュースソースを集めてみて驚いたことは、日本の報道記事の方が、はるかに多く「五輪停戦決議」について取り上げているのです。まるで日本以外の報道機関は米国の行動については沈黙を守っているようでした。しかし、唯一米国の「デンバー・ポスト」社だけは、米国に批判的な記事を載せているのが印象的で、米国議会で米タリバン戦争開戦に唯ひとり反対した議員のようでした。

五輪停戦を守るのは誰でしょうか。それは国際五輪停戦センターのサイトを見ると明らかです。そこには「私は五輪停戦を守ります」というボタンが設置されているのです。そして、「賛同してくれる個人はこのボタンを押してください。一切の強制はありません」と書いてあります。もちろん、ボクはそのボタンを押しました。



今回五輪の歴史そのものについても書きたかったのですが、それは別の機会、別のひとに譲ることにします。

典拠文献

- ・丸山秀一「オリンピックと戦争—五輪停戦決議」レポート, 2002
- ・「スーパー・ニッポニカ」小学館
- ・国際五輪停戦センター
www.olympictruce.org
- ・「デンバー・ポスト」社記事
Susan Greene 「A shadow over Salt Lake」他
www.denverpost.com
- ・報道各社記事
Las Vegas SUN, news24, 新華社通信, The Times of India, VOA news ほか, 読売オンライン, 信濃毎日新聞, スポニチ, 時事通信社, 共同通信社, 毎日インタラクティブ, 人民日報社, 西日本新聞ほか
- ・「五輪停戦決議」
www.un.org

- ・ 「United Nations & Olympic Truce」(英文パンフレット)
国連情報センター 2001
- ・ 脇田泰子「五輪と平和」同人社
www.doujinsha.com/sports2002.htm
- ・ IOC www.olympic.org
- ・ FOTW <http://flagspot.net/flags/>
- ・ 「IOTC Brochures 2008」パンフレット

参考文献

- ・ 吉田秀樹「オリンピックの話」『たのしい授業』168号
- ・ 吉田秀樹「《オリンピックと平和》」『たのしい授業』280号
- ・ 結城和香子『オリンピック物語』中公新書, 2004
- ・ 丸山秀一「パラリンピック」レポート, 2002